

旧長崎高商表門衛所

この小さな建物は長崎高等商業学校の入口付近にあった。日本政府が 1905 年に設立したこの学校は、神戸、東京、山口に次ぐ国内 4 番目の商業学校だった。生徒は国際ビジネスのコースを含 3 年間のプログラムに参加した。

生徒は、門に入り、拱橋を渡り、橋のもとにある表門衛所を通り過ぎた。1900 年代初頭の日本建築の典型であるように、西洋と日本の両方の要素が組み込まれている。建物の外観は洋風だが、床は畳である。

1949 年に長崎大学経済学部に入れ、独立機関として存在がなくなった。

1976 年にグラバー園に寄進され、現在の場所に移築された。

採用番号 NO :	023-014
-----------	---------